取扱説明書

　このたびは、リッチェル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」と「保証書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため、現物とは多少異なることがあります。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡しください。
（裏表紙に保証書が添付されています。）

もくじ　　ページ

保証書付

安全上のご注意（必ずお守りください）

○記号の説明
この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

○この表示を無視して、誤った使い方をしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

⚠ 警　告	取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。
注　意	取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

⃠ は、してはいけない「禁止」の内容です。	一般的な禁止　水場での使用禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　分解禁止
● は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	必ず行う　アース線接続　電源プラグを抜く

⚠ 警 告

分解禁止

分解・修理・改造はしない

修理技術者以外の人は分解したり、修理したりしないでください。火災・感電やケガをするおそれがあります。
修理はお買い上げの販売店に相談してください。

水場での
使用禁止

浴室・シャワー室など湿気の多い場所に設置しない

感電・火災のおそれがあります。

ぬれ手
禁　止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やケガをするおそれがあります。

水ぬれ
禁　止

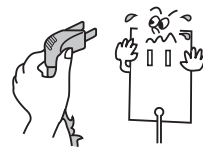
便座本体・電源プラグに汚水や水をかけない

感電・火災のおそれがあります。

⚠ 警告

禁　止

電源コードが傷んでいたら使用しない

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩かったりするときは使用しないでください。また、電源コードを破損するようなことはしないでください。感電・ショート・発火のおそれがあります。

汚水受けを手前に引き出した状態で便座を下ろしたり、座ったりしない

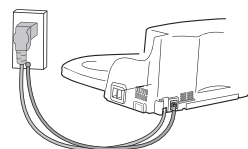
ケガや破損のおそれがあります。

体重が100kg以上の方は使用しない

故障したままで本品を使用し続けない

アース線接続

アースを確実に取り付ける

アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。コンセントにアース端子がない場合には、必ずお買い上げの販売店または電気工事店に相談してください。

必ず行う

低温ヤケドに注意する

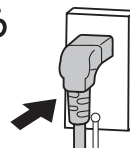
乳幼児や自分で温度調節できない方、皮フ感覚の弱い方などが使用されるときは特に注意してください。

立ち座りの際など、使用者自身が身体の安定を十分に保てない場合は、介助者が付き添いのうえ使用する

座面や肘掛けの上に立たない
移乗の際、肘掛けや座面（背もたれ兼用）を手すりがわりにしない

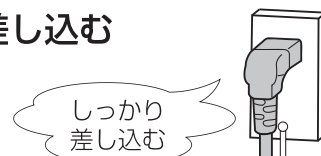
転倒やケガのおそれがあります。

電源は、交流100Vのコンセントを使用する

交流200V・船舶などの電源で使うと、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグはきれいにする

電源プラグの刃および刃の取付け面にホコリがついている場合は定期的によくふいてください。火災のおそれがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注 意

禁　止

薬品でふいたり、かけたりしない

シンナー・ベンジン・洗剤（トイレ用、浴室用）トイレ用おそうじティッシュ・薬品でふいたり、殺虫剤・芳香剤・消臭剤をかけたりしないでください。便座などがひび割れし、ケガをしたり、体がかぶれたりするおそれがあります。

給水ホースに力を加えたり、折り曲げたりしない

水漏れのおそれがあります。

必ず行う

長時間使用しないときは便座本体内部の水を抜く

放置すると水が腐敗するおそれがあります。水を抜いた後は万一の漏水を防ぐため、止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。（水抜きの方法 P29）

凍結予防する

凍結すると給水ホース、ウォシュレット内部が破損して水漏れのおそれがあります。凍結のおそれのある地域では暖房するなどして、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結破損により、感電・火災の原因となります。

人を乗せた状態で本体ごと持ち上げたり、移動させたりしない

転倒したり、本品が破損しケガをしたりするおそれがあります。

便座と本体固定穴を確実に固定する

正常に便座が作動しなかったり、ケガをしたりするおそれがあります。

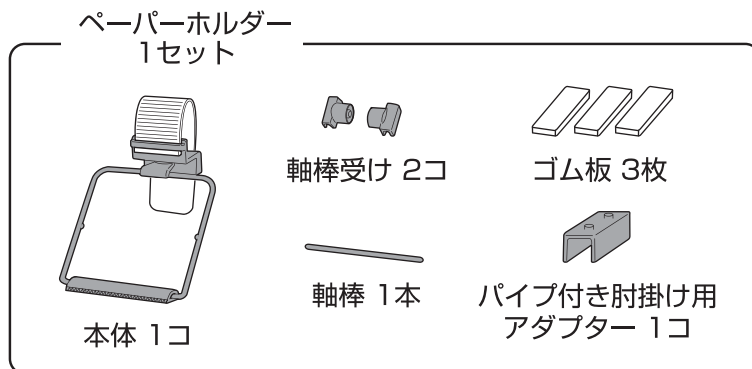
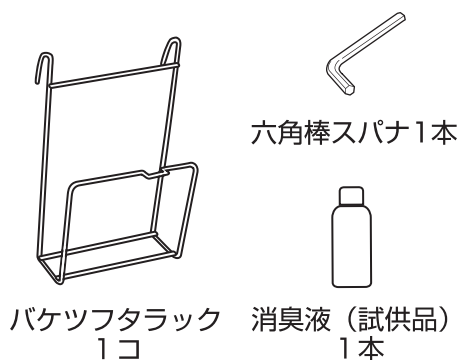
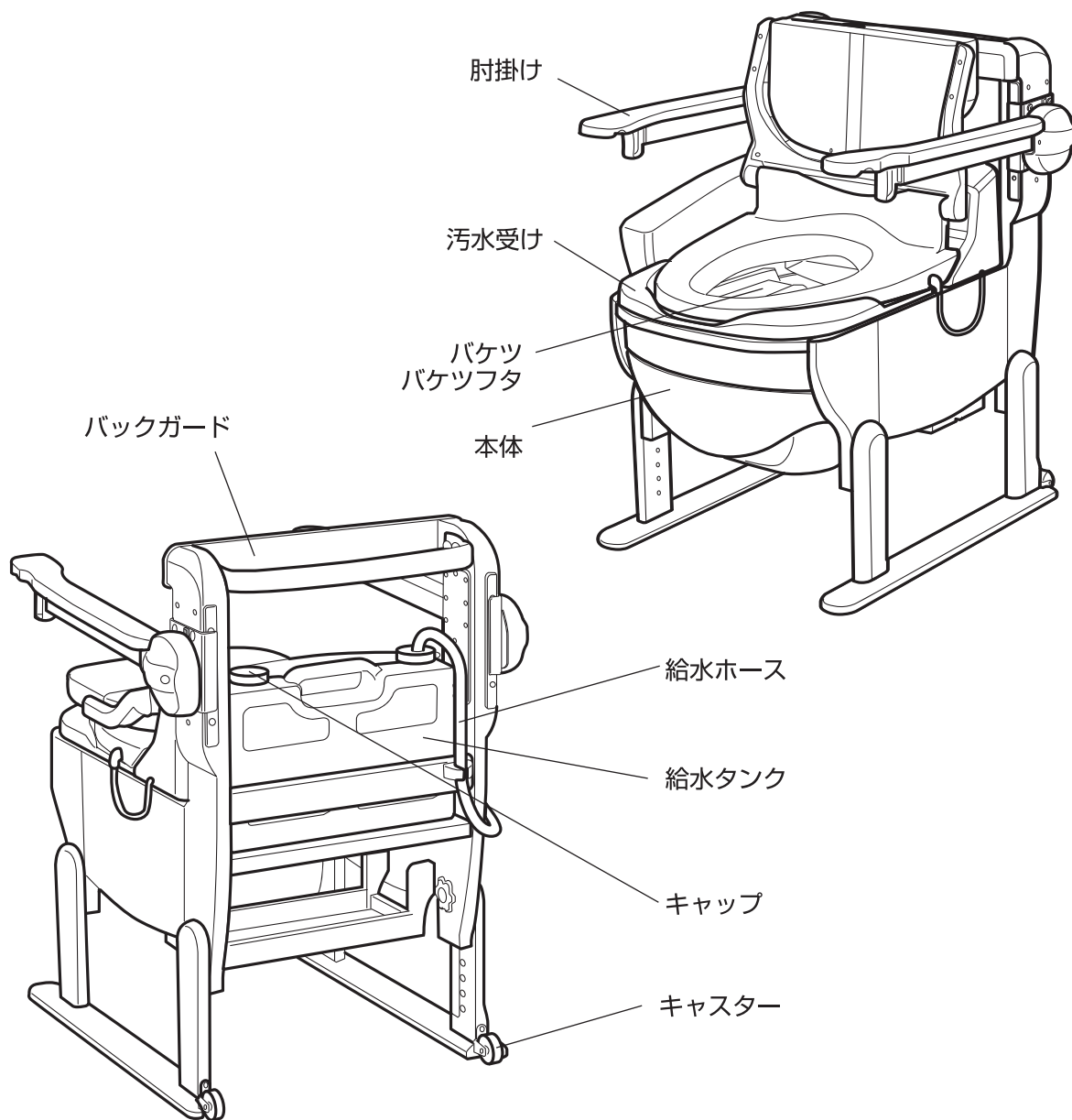
本体を持ち運ぶときは必ず給水タンクを取り出して行う

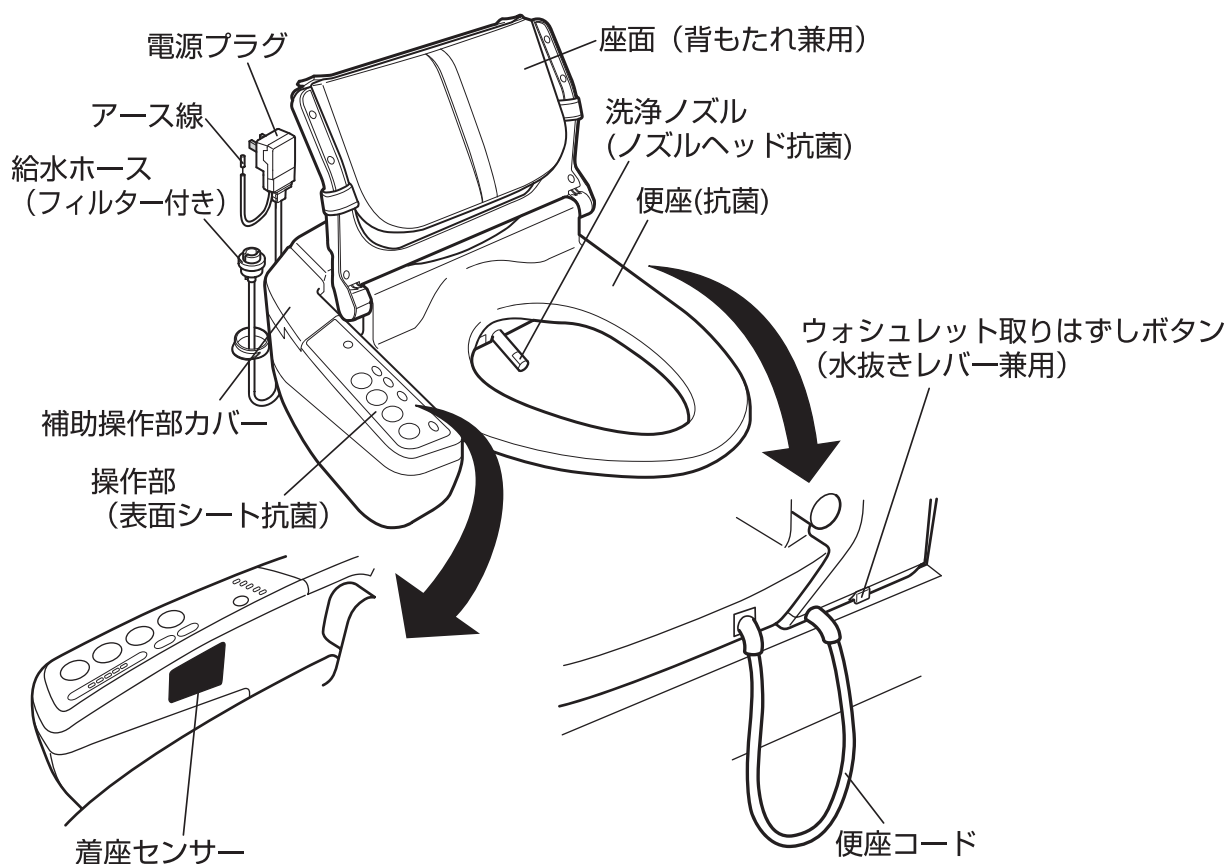
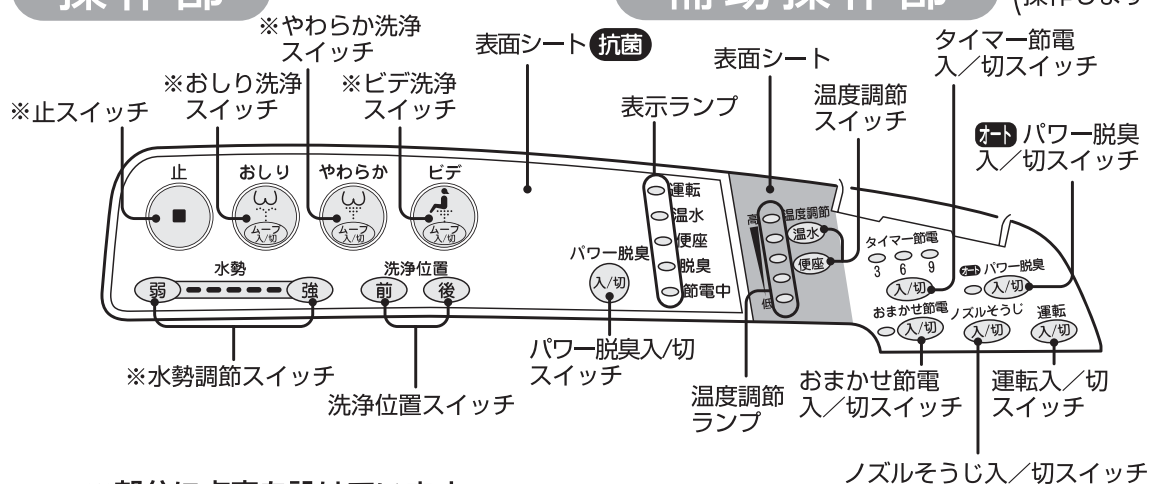
水がこぼれたり、ケガをしたりするおそれがあります。

使用前に各部材のネジがしっかり締まっているか確認する

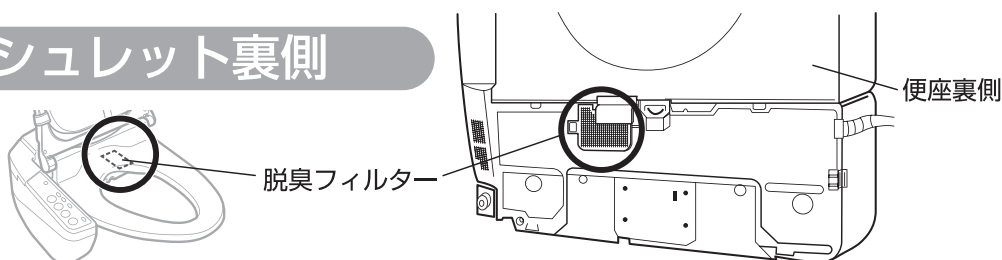
本品が破損し、ケガをするおそれがあります。

各部の名前と同梱部品内容

本体部・付属部品

※ペーパーホルダーの取付けは、付属のペーパーホルダーの取扱説明書を参照してください。

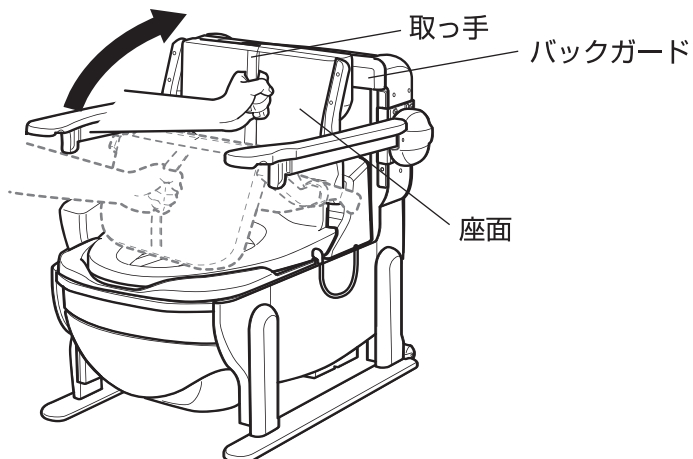
各部の名前と同梱部品内容

ウォシュレット部

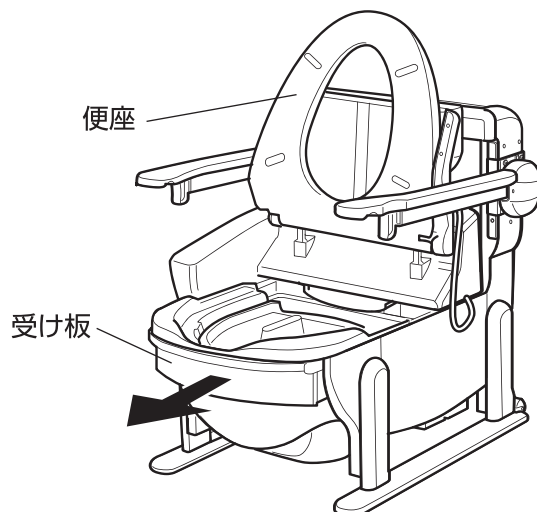
※部分に点字を設けています。

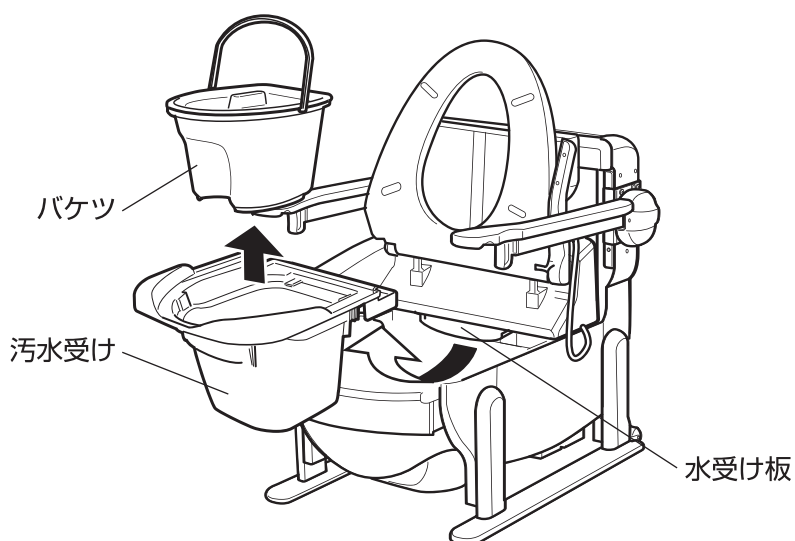
ウォシュレット裏側

ご使用になる前に

1. 便座の高さを調節する

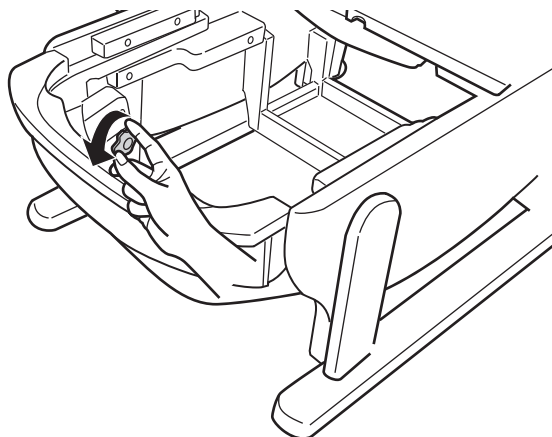
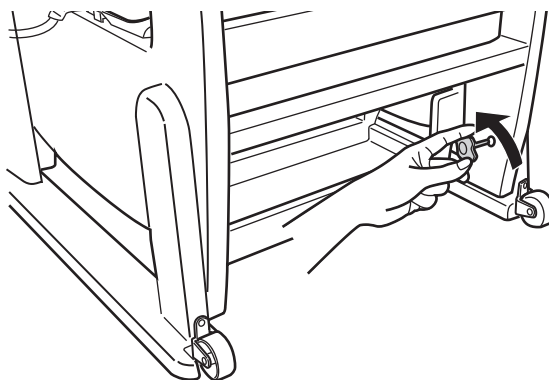
(1)座面を跳ね上げる。

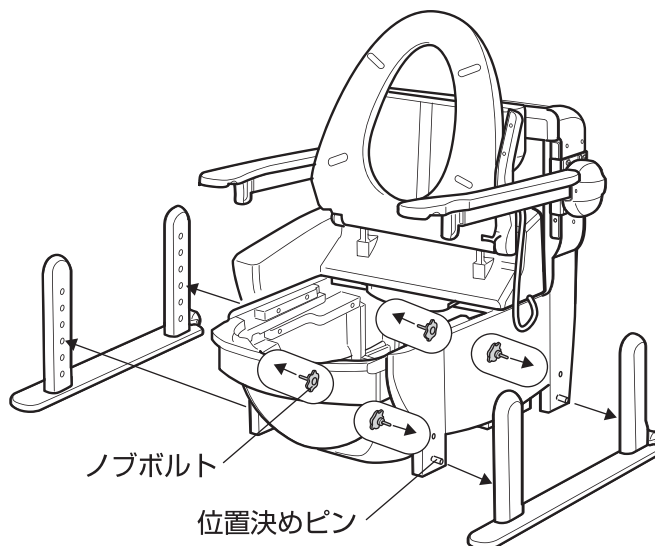
座面中央の取っ手をつかみ、持ち上げながらバックガードまで跳ね上げます。

(2)バケツ、汚水受けを取り出す。

①便座を跳ね上げ、受け板を手前に引き出します。

②バケツを取り出し、汚水受けを取り出します。

※バケツ、汚水受けを取り出す際に、水受け板にぶつけないようにしてください。

ご使用になる前に

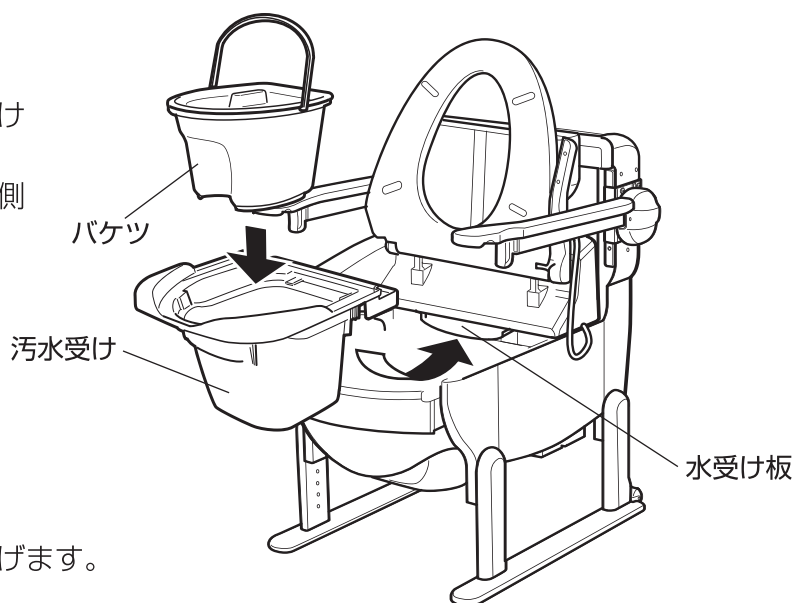
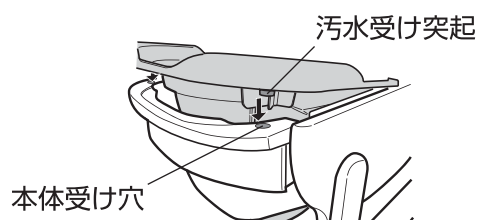
(3) ノブボルトを取り外す。

①本体内側前の左右のノブボルトを緩め、本体から取り外します。

②本体内側後ろの左右のノブボルトを緩め、本体から取り外します。

(4) 脚部を固定する。

①脚を外し、高さを調節します。下図の便座高さと脚の取付け穴位置を参照してください。
②本体の位置決めピンに脚を差し込みます。本体内側のノブボルト（前後4カ所）を脚の穴位置が合うところで締めます。

便座高さと脚の取付け穴位置

脚の取付け穴位置 黒丸の位置に位置決めピン、点線の位置にノブボルトを取り付けてください。 ノブボルト 位置決めピン	○ ○ ○ ○ ○ ◌ ○ ●	○ ○ ○ ○ ◌ ○ ● ○	○ ○ ○ ◌ ○ ● ○ ○	○ ○ ◌ ○ ● ○ ○ ○	○ ◌ ○ ● ○ ○ ○ ○	◌ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○
便座の高さ	32.5cm	35cm	37.5cm	40cm	42.5cm	45cm

(5)汚水受け、バケツを取り付ける。

①汚水受けを本体内に、バケツを汚水受けに戻します。
※汚水受け突起が本体の受け穴に左右両側ともはまるようにしてください。

②受け板をもとの位置に戻し、便座を下げます。

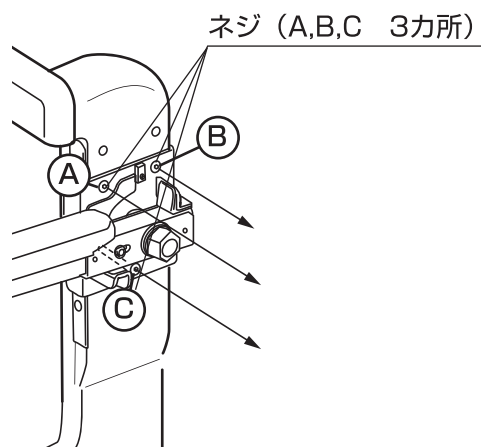
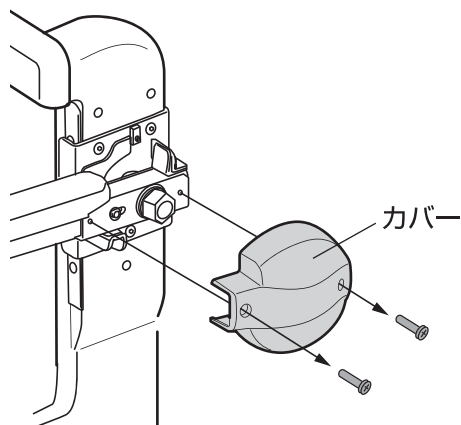
⚠ 注 意

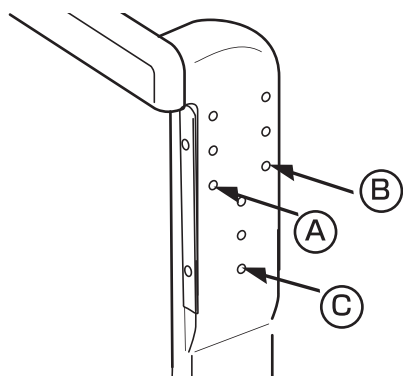
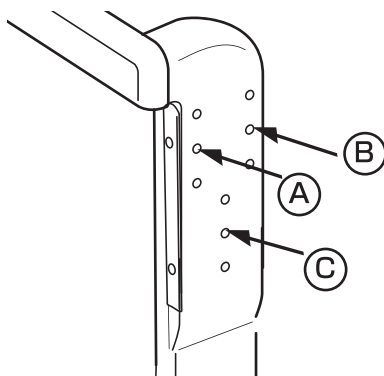
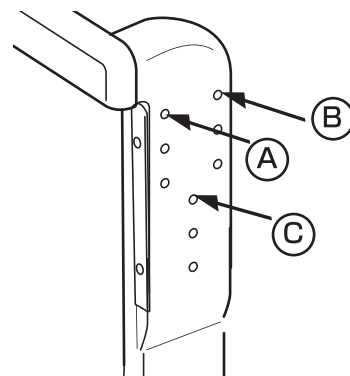
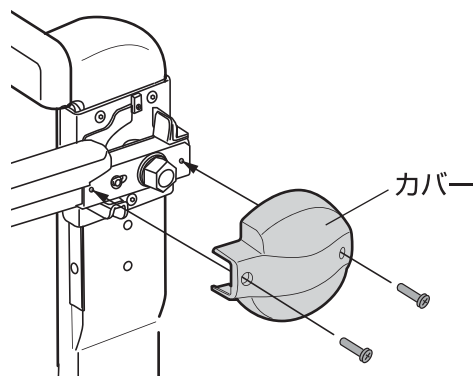
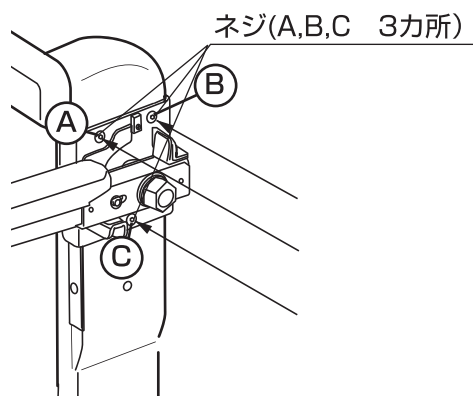
必ず実行	**脚部が全て同じ高さで固定されていることを確認してください** 不安定な場合は転倒し、ケガをするおそれがあります。
	使用前に必ずネジの緩み・外れ・破損などがないか各部を点検して使用してください ネジが緩んだだまま使用すると破損したり、ケガをするおそれがあります。

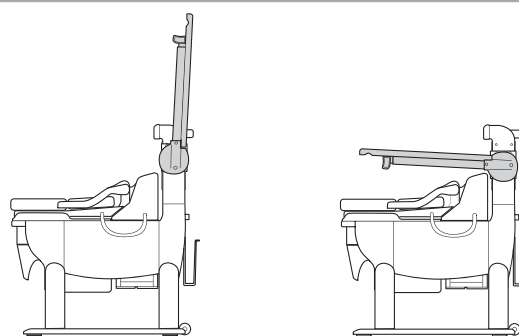
2. 肘掛けの高さを調節する

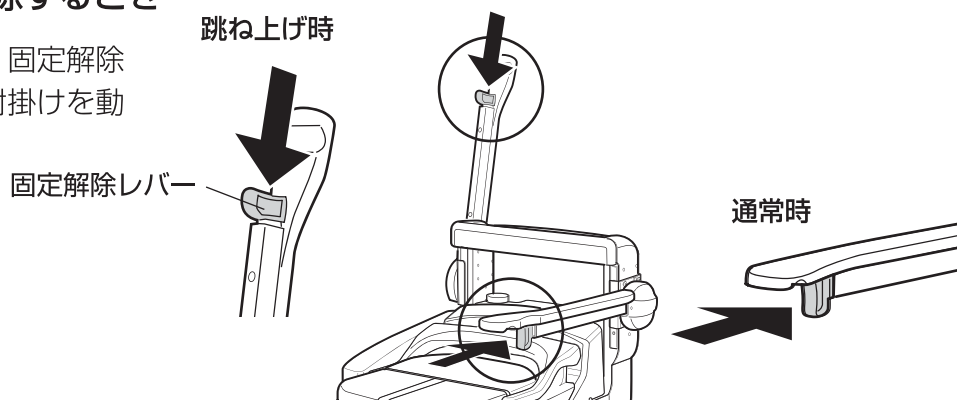
肘掛けの高さは出荷時23cmに設定されています。肘掛けの高さは便座面から20cm・23cm・26cmの3段階に調節できます。

(1)カバーをプラスドライバーで取り外す。

(2)ネジを六角棒スパナで3カ所取り外す。

ご使用になる前に

(3)肘掛け高さ調節時のネジ取付け穴位置

(4)ネジを六角棒スパナで3カ所取り付ける。(5)カバーをプラスドライバーで取り付ける。

3. 肘掛けの固定・固定解除について

右図のように肘掛けを完全に跳ね上げた状態や、肘掛けを下ろした状態で肘掛けを固定することが可能です。肘掛けを跳ね上げたり、下ろしている途中では固定されません。
使用目的に合わせて使用してください。

(1)肘掛けの固定を解除するとき

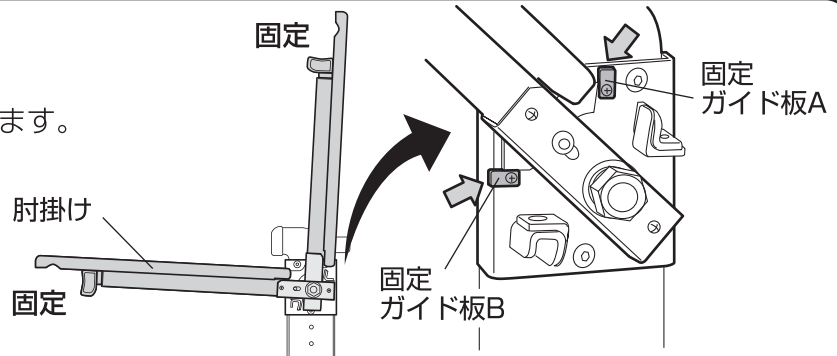
肘掛けの固定解除は、固定解除レバーを押しながら肘掛けを動かし、行います。

(2)肘掛けの固定方法と固定パターンの変更方法

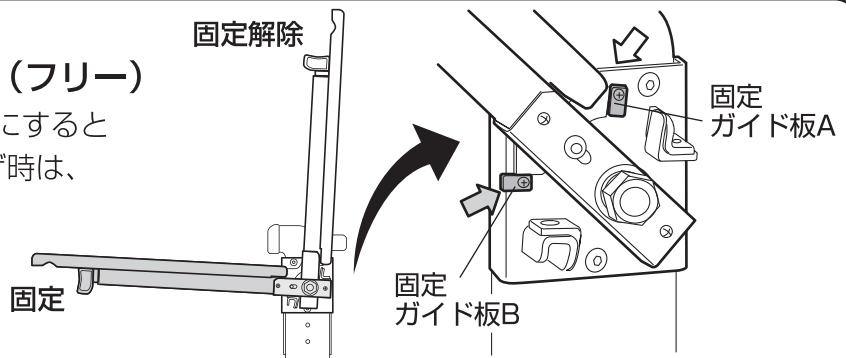
固定を解除した状態で、肘掛けを通常時は下がらなくなる位置まで、跳ね上げ時は、上がらなくなる位置まで動かします。固定パターンは以下の4通りになります。

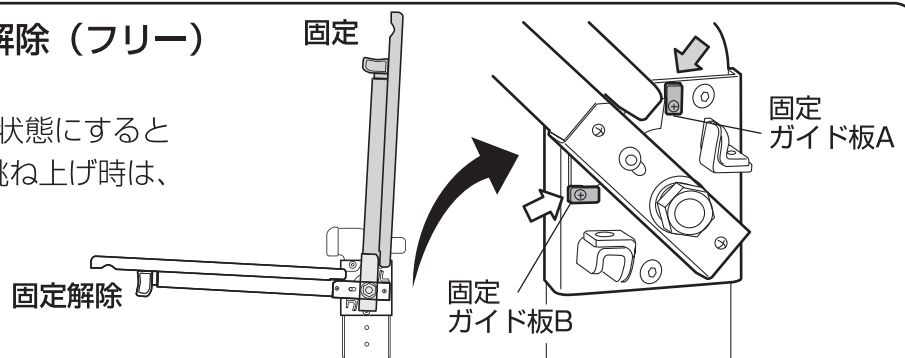
※固定パターンを変えるときはカバーを外し固定ガイド板を図の位置にしてください。

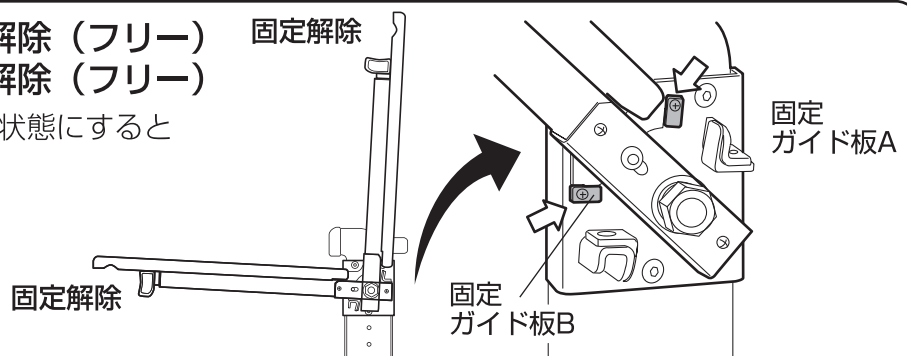
※梱包時は①の状態です。

① 通常時　固定
跳ね上げ時　固定

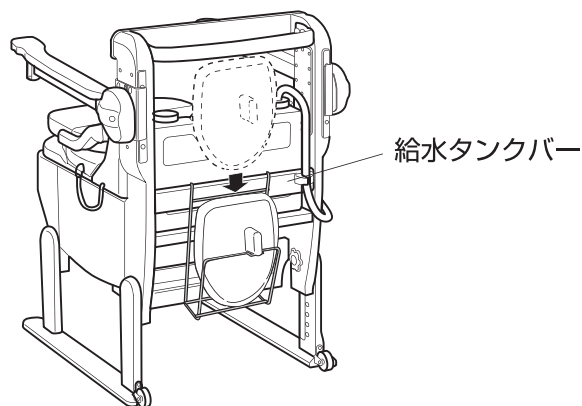
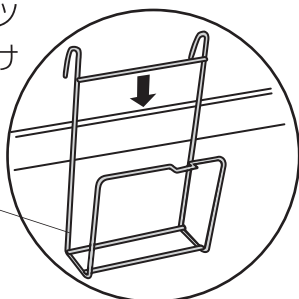
右図の位置で肘掛けが固定されます。
※梱包時の状態です。

② 通常時　固定
跳ね上げ時　固定解除（フリー）

固定ガイド板A、Bを図の状態にすると
通常時は、固定され、跳ね上げ時は、
固定されません。

③ 通常時　固定解除（フリー）
跳ね上げ時　固定

固定ガイド板A、Bを図の状態にすると
通常時は、固定されず、跳ね上げ時は、
固定されます。

④ 通常時　固定解除（フリー）
跳ね上げ時　固定解除（フリー）

固定ガイド板A、Bを図の状態にすると
肘掛けは固定されません。

4. バケツフタスタンドの取付

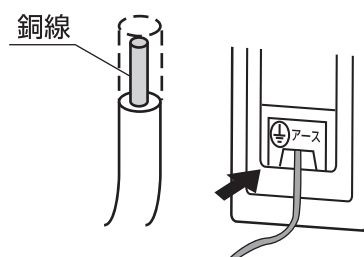
バケツフタスタンドを取り付ける

給水タンクバーにバケツフタスタンドを引っ掛けます。

5. アース線を端子に固定する

アース線の銅線をむき出しにして、アース専用端子に固定してください。

⚠ 警告

アース線接続

アースを確実に取り付けてください
アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。コンセントにアース端子がない場合には、必ずお買い上げの販売店または電気工事店に相談してください。

6. 電源プラグをコンセントに差し込む

(1)電源プラグを交流100V（50/60Hz）のコンセントに根元まで確実に差し込みます。
(2)電源プラグの「切表示」ランプが消灯していることを確認します。
※「切表示」ランプが点灯しているときは「入(リセット)」ボタンを押すと「切表示」ランプが消灯します。詳しくはP.28の 3. 電源プラグのお手入れと点検 を参照してください。
※電源プラグを差し込み、リセットボタンを押すと自動的にウォシュレットのノズルが出てきますが、異常ではありません。

⚠ 警告

禁止

ガタついているコンセントは使わないでください
火災や感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

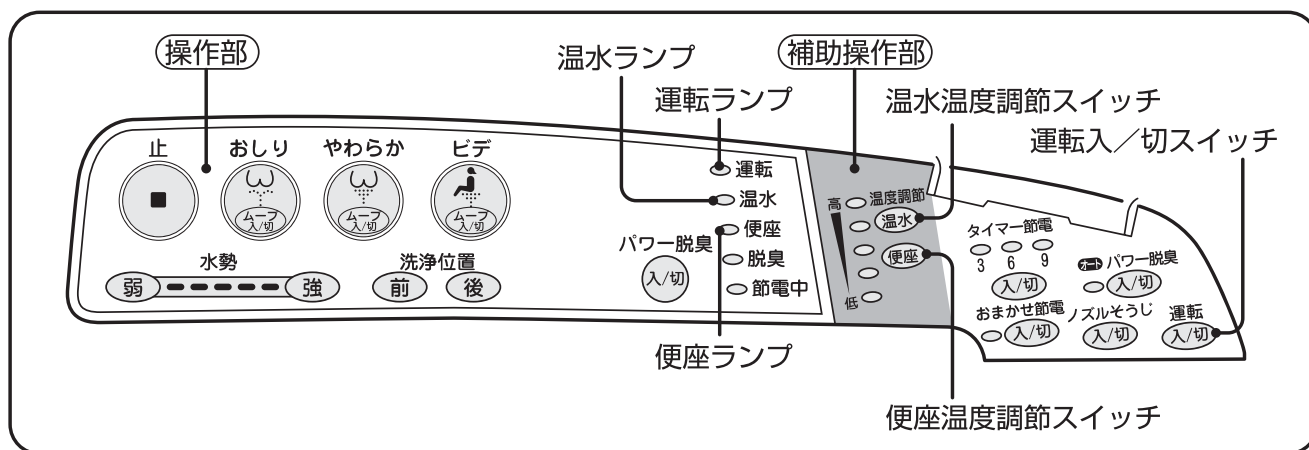
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください
感電やケガをするおそれがあります。

7. 操作部・補助操作部を確認する

以下の内容を確認します。

◆ 運転ランプは点灯していますか？ ▶ 点灯していないときは、補助操作部の（運転 入/切）を押し、ランプを点灯させます。

◆ 温水ランプは点灯していますか？ ▶ 点灯していないときは、補助操作部の（温水）を押し、ランプを点灯させます。

◆ 便座ランプは点灯していますか？ ▶ 点灯していないときは、補助操作部の（便座）を押し、ランプを点灯させます。

8. ウォシュレットの機能を確認する

※ウォシュレットの操作部先端に養生用の透明テープを3枚貼っていますので、ご使用前にはがしてお使いください。

(1)座面、便座を跳ね上げます。

※座面の跳ね上げ方は、P.6 1. 便座の高さを調節する の「(1)座面を跳ね上げる。」を参照してください。

(2)バケツ、汚水受けが正しく取り付けられているか確認します。

※バケツ、汚水受けの取付け方は、P.8 1. 便座の高さを調節する の「(5)汚水受け、バケツを取り付ける。①」を参照してください。

(3)便座を下げ、給水タンクに給水します。

※給水方法は、P.14 の 1. 給水方法 を参照してください。

(4)着座センサーを白紙で覆います。

※白紙で覆うと着座センサーが着座を検知した状態になります。

(5)脱臭機能を確認します。

◆操作部の内側の吹出口から風が出ていますか？

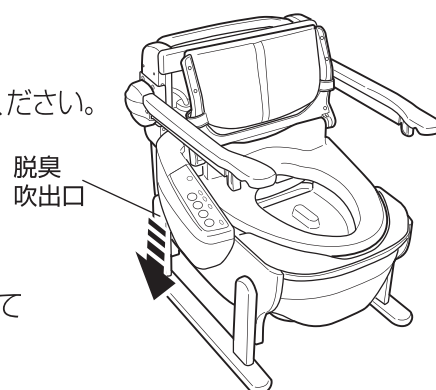
※確認できない場合は、P.33の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

脱臭
吹出口

(6)パワー脱臭機能を確認します。

◆操作部の パワー脱臭 入/切 を押すと脱臭音が大きくなりますか？

◆もう一度 パワー脱臭 入/切 を押すと元の音に戻りますか？

※確認できない場合は、P.33の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

(7)洗浄機能を確認します。（吐水は右下図のように紙コップなどで受けてください。）

◆ おしり やわらか ビデ のいずれかを押すとノズルから適温の温水が出ますか？

※ウォシュレット内部の温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。

※ウォシュレット付ポータブルトイレはポンプで給水する構造のため、ウォシュレットご使用時に、ポンプ動作音と振動が発生します。

◆水勢調節スイッチ 弱 強 を押すと水の量が変わりますか？

◆ 止 を押すと吐水が止まりますか？

※確認できない場合は、P.32の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

(8)着座センサーの白紙を30秒以上覆ったあと外します。

※白紙を外すと着座センサーが離座を検知した状態になります。

(9)オートパワー脱臭機能を確認します。

◆脱臭音が大きくなりますか？

※着座センサーを30秒以上白紙で覆わないとオートパワー脱臭は作動しません。

◆白紙を外してから約1分後に自動的に脱臭音が止まりますか？

※確認できない場合は、P.33の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

(10)暖房便座機能を確認します。

◆便座面が温かくなっていますか？

※便座面が温まるまで約15分かかります。

※確認できない場合は、P.32の「故障かな?と思ったら」を参照してください。

別売品について

※この商品に対応したリモコンをTOTO（株）にて購入できます。

リモコンの購入に関するお問い合わせは

TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ

TEL 0120-8282-55　FAX 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00　土･日･祝日 10:00～18:00（夏期休暇・年末年始を除く）

※諸般の事情により予告無く改良、仕様の変更、品番・価格の改訂などを行う場合がありますため、あらかじめご了承ください。

品名：らくらくリモコン
ウォシュレット付ポータブルトイレ用
EWRP290

使い方

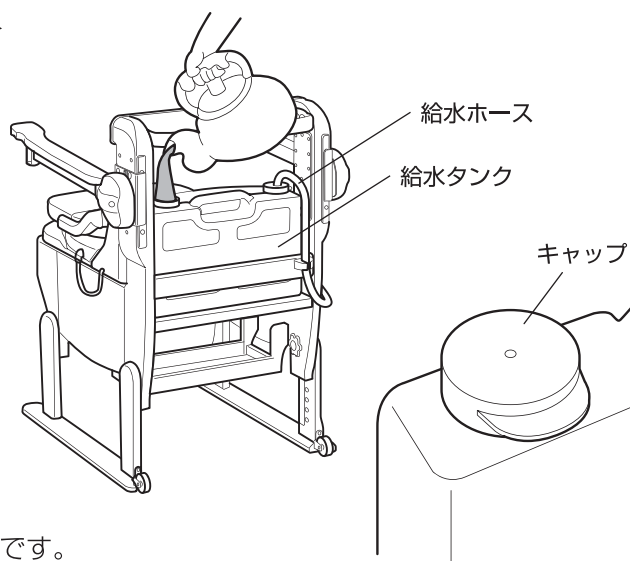
1. 給水方法

<タンクを本体から外さないで給水するとき>

(1)給水ホースがついていない方のキャップを外します。

(2)やかんなど注ぎ口の小さな容器で給水タンクに水道水を入れます。
※給水の際、給水タンクから水があふれないように注意してください。

(3)キャップをカチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

・給水タンクの容量は約3.5リットルです。
・給水タンクのキャップに開いている小さな穴は空気穴です。

<タンクを本体から外して給水するとき>

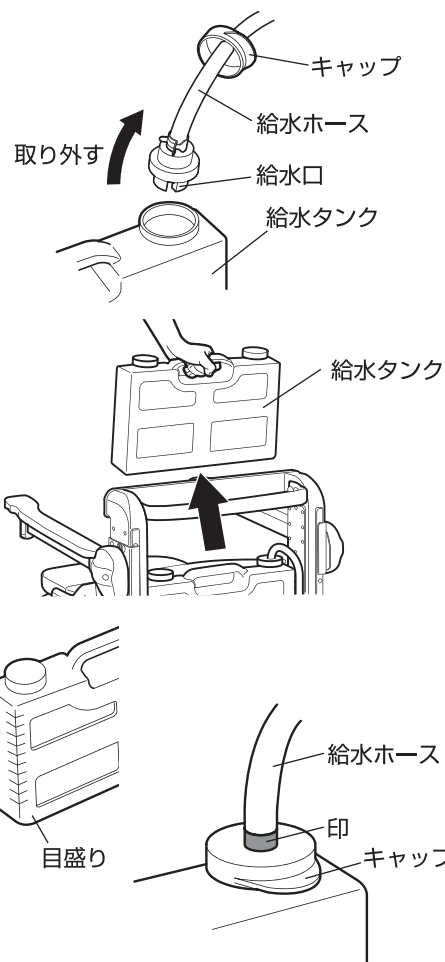
(1)給水タンクから給水ホースについているキャップを外します。

(2)給水タンクから給水ホースを取り出します。
※給水ホースを取り出したときに、給水ホースに付着した水や中の水がこぼれてくることがありますので、タオルなどで受けながら行ってください。
※給水ホースを取り出すときは、給水ホースを押しつぶさないように注意してください。給水ホースに残っている水が大量に落ちてくることがあります。

(3)給水タンクを取り出します。

(4)給水タンクに水を入れます。
※給水タンクに水を入れすぎると、給水ホースを入れたときにあふれてくることがあります。給水タンクについている目盛りを参考にしてください。

(5)給水口を差し込み、キャップをしっかりと押し込みます。
※各部から水漏れのないことを確認してください。
※キャップが印の位置にあることを確認してください。ずれていると給水できなくなりますので、キャップを印の位置にあわせてください。

⚠ 警 告

給水タンクにお湯を入れないでください
ヤケドや給水タンクが変形するおそれがあります。

使い方

⚠ 注 意

禁止

給水タンクに水道水以外は使用せず、消毒液、薬品、芳香剤などを入れないでください

皮フの炎症などを起こすおそれがあります。

ウォシュレットの給水タンクの水は毎日入れ替えてください

水質悪化により、皮フの炎症などを起こすおそれがあります。

必ず実行

外した給水口は洗面器などで受けてください

給水ホース内の水が落ちて床などをぬらすおそれがあります。

2. 座　る

座面を跳ね上げて便座に座ると着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになると同時に脱臭が始まります。

アドバイス

- 座面を跳ね上げると背もたれとしてご利用できます。
- 着座センサーは人が便座に座ったことを検知するものです。使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなることがあります。（P33.の「故障かな？と思ったら」を参照してください）
- 便座に座ると約20分後から徐々に便座の温度を下げ、約1時間後に暖房便座のヒーターのスイッチが自動的に切れて低温ヤケドを防止します。便座から離れると自動でヒーターのスイッチが入ります。

⚠ 注 意

禁止

座面を2つ折りにしない状態で背もたれとして使用しないでください

ケガをするおそれがあります。

ウォシュレット部や操作部、座面の枠に座らないでください

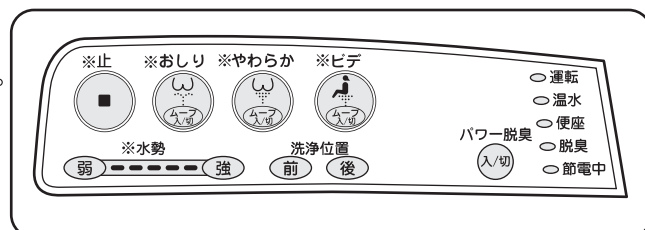
破損やケガをするおそれがあります。

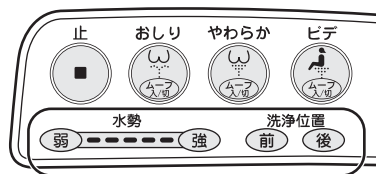
3. 洗　う

(1)お湯を出す。

- おしり洗浄 (おしり) または、やわらか洗浄 (やわらか) を押します。

  ※ソフトな水流がお好みの方は (やわらか) を使用してください。
- ビデ洗浄 (ビデ) を押します。

  ※洗浄中ウォシュレット内蔵の電磁ポンプによる振動音がありますが、故障ではありません。

(2)水勢と洗浄位置を調節する。

・水勢調節
　お好みの水勢を5段階で調節できます。
・洗浄位置調節
　お好みの洗浄位置を5段階で調節できます。
　※便座から立ち上がると標準位置（3段階目）に戻ります。

アドバイス

・給水タンクの水がなくなったときは、使用を中断し給水してください。故障の原因になります。給水タンクの水がなくなると、水が出なくなり、音が大きくなります。
・便座に深く腰掛けますと洗浄位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。
・ウォシュレットは貯湯式ですので、連続して使用するとお湯の温度が低くなることがあります。

＜さらに快適な使いかた＞

ムーブ洗浄　ムーブ洗浄とは、ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗浄する機能のことをいいます。

ムーブ洗浄の操作方法

① おしり やわらか ビデ のうち使用するスイッチを押します。洗浄を開始します。

②もう一度同じスイッチを押します。ムーブ洗浄が始まります。

③さらにもう一度同じスイッチを押します。ムーブ洗浄が終わります。

4. 止める

止 ■ を押します。

5. 離れる

便座から離れると、オートパワー脱臭が始まります。オートパワー脱臭は約1分後に止まります。

アドバイス

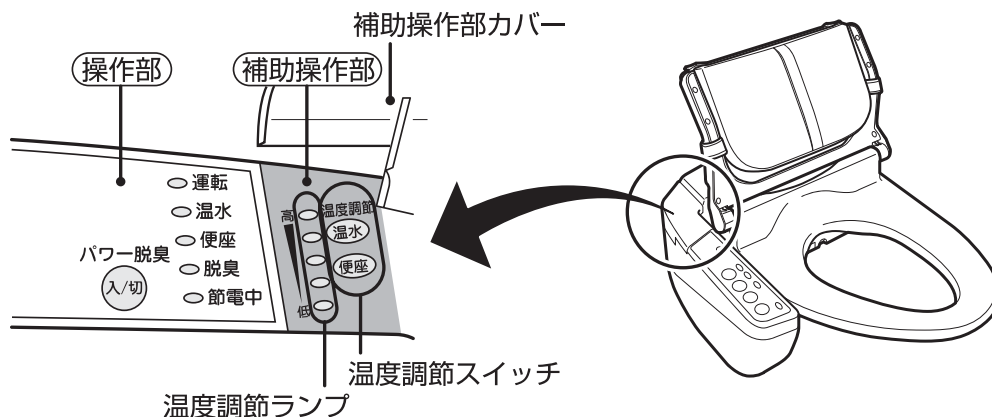
便座に着座している時間が短いと、オートパワー脱臭が始まらないことがあります。

おしり洗浄・やわらか洗浄・ビデ洗浄について
●局部周辺に付着した汚物や汚れを洗い流す機能です。 **●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。** 　※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌のバランスが崩れる可能性があります。 **●局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。**

＜知っておいていただきたいこと＞

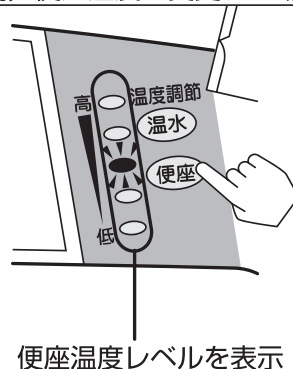
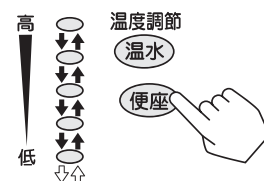
●ウォシュレットはポンプ給水式です。給水ホース内に空気が入った状態でポンプが作動すると大きな音が発生しますが、故障ではありません。
●ノズルの右側からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので、異常ではありません。

6. 適温調節の仕方

温水、便座の温度は補助操作部の温度調節スイッチで調節できます。お好みの温度で使用してください。

＜温度を変更したいとき＞

(1) 温水 便座 のうち温度を変更したいスイッチを押します。温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

アドバイス

温度調節ランプは、温水・暖房便座温度の表示を共用しています。温度調節スイッチを押したときのみ、押したスイッチの温度レベルを表示します。

温度調節ランプが消灯したら「切」になります。

(2)お好みの温度レベルになるまで温度調節スイッチを繰り返し押します。
スイッチを押すごとに温度調節ランプが切り替わります。

アドバイス

- 温度調節中に約10秒間スイッチから手を離すと温度調節ランプは消灯します。そのときは、もう一度スイッチを押してください。
- 温度調節スイッチを押して水温が安定するまで約10分かかります。

＜温水または暖房便座を「切」にしたいとき＞

(1) 温水 便座 のうち「切」にしたいスイッチを押します。
温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。
(2)温度調節ランプが消えるまで温度調節スイッチを繰り返し押します。

アドバイス

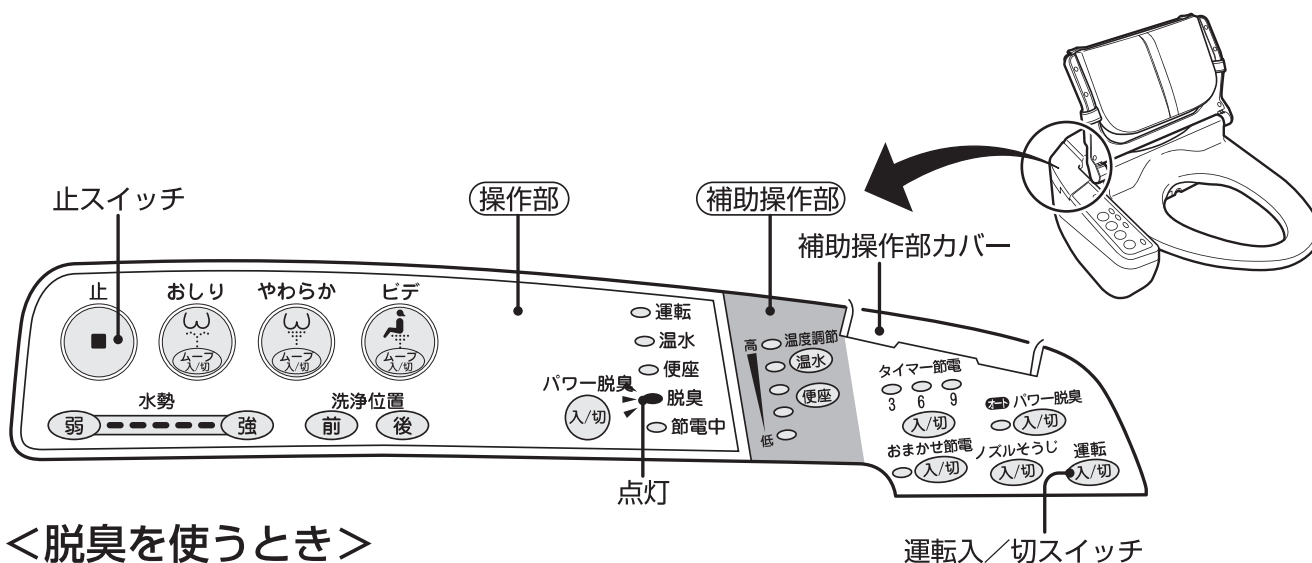
温度調節ランプの消灯と共に、操作部の「温水」または「便座」ランプも消灯します。

＜温水または暖房便座を「入」にしたいとき＞

温水 便座 のうち「入」にしたいスイッチを押します。
お好みの温度レベルに調節してください。

アドバイス

温度調節ランプの点灯と共に、操作部の「温水」または「便座」ランプも消灯します。

7. 脱臭の仕方

<脱臭を使うとき>

バケツ内のにおいをとります。

(1)座面を跳ね上げて便座に座ると、脱臭が始まります。
操作部の「脱臭」ランプが点灯します。

アドバイス

はじめは、脱臭は「入」に設定されています。

(2)座面から離れると、約1分後に脱臭が自動で止まります。
操作部の「脱臭」ランプが消灯します。

脱臭を使わないようにするには…	再び脱臭を使うようにするには…
① 操作部の 止 を10秒以上押します。 操作部の表示ランプが全て点滅します。	① 操作部の 止 を10秒以上押します。 操作部の表示ランプが全て点滅します。
② 補助操作部の 運転 入/切 を押します。 操作部の「脱臭」ランプのみ点滅します。	② 補助操作部の 運転 入/切 を押します。 全てのランプが消灯します。
③ もう一度、運転 入/切 を押します。 「脱臭」ランプが消灯します。	③ もう一度、運転 入/切 を押します。 「脱臭」ランプが点滅します。
④ もう一度、止 を押します。 ・標準の脱臭、オートパワー脱臭をやめます。 ・パワー脱臭のみ使えます。	④ もう一度、止 を押します。

使い方

＜パワー脱臭を使う＞

便座に座って、においが気になるとき、吸い込む力をアップさせてバケツ内のにおいをとります。

操作部の パワー脱臭 入/切 を押すと、パワー脱臭が始まります。

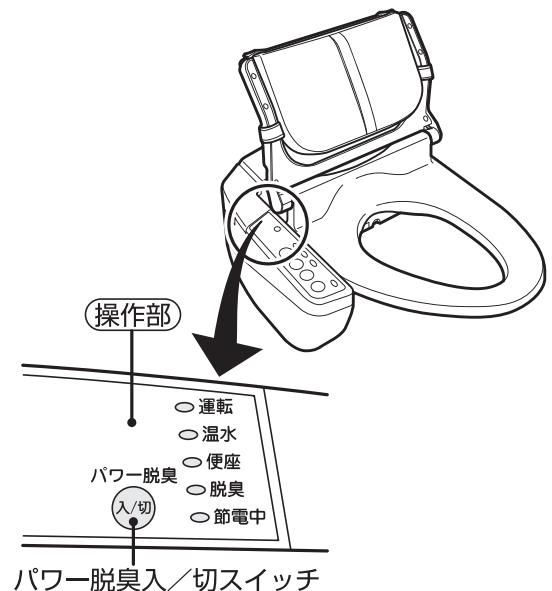
アドバイス

- 「パワー脱臭」は、便座に座らないとはたらきません。
- いったん便座に座れば、便座を離れた後でも約１分間、スイッチは作動します。

＜パワー脱臭をやめる＞

もう一度、操作部の パワー脱臭 入/切 を押すと、標準の脱臭風量に戻ります。

アドバイス

「パワー脱臭」を切らずに便座から離れた場合でも、約1分後に止まります。

＜オートパワー脱臭を使う＞

便座から離れると自動でパワー脱臭を行います。

補助操作部の「 オート パワー脱臭」ランプが点灯していることを確認してください。

便座から離れると、オートパワー脱臭が始まります。

- 約1分後に自動的に止まります。

アドバイス

はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。

＜オートパワー脱臭を使わない＞

補助操作部の オート パワー脱臭 入/切 を押すと、オートパワー脱臭をやめます。

- 補助操作部の「 オート パワー脱臭」ランプが消灯します。

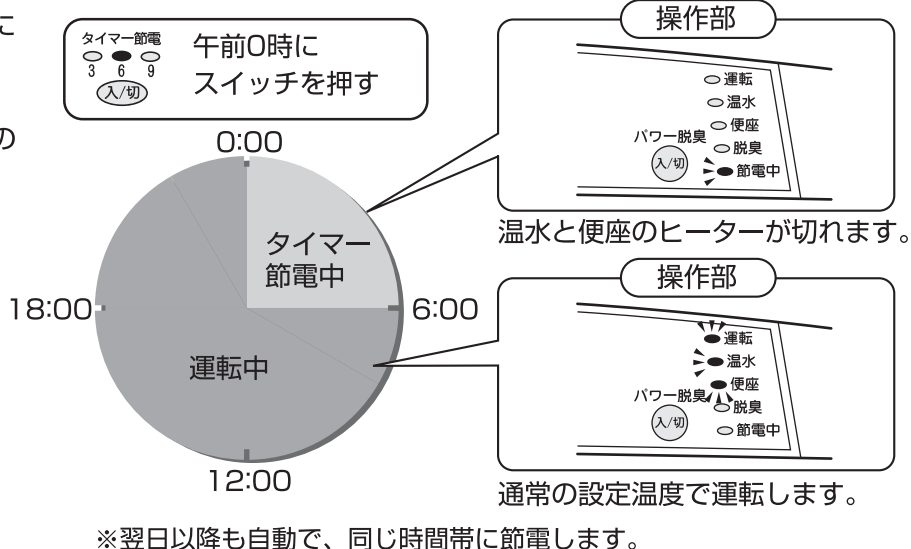
8. タイマー節電の仕方

タイマー節電とは…

●一度設定すると毎日その時間に自動で節電します。

●タイマー節電中は温水と便座のヒーターが切れます。

（例）午前0時から6時まで節電する場合

※翌日以降も自動で、同じ時間帯に節電します。

<タイマー節電をする>

節電を開始したい時刻に補助操作部の タイマー節電 入/切 を押すと、節電を始めます。

・補助操作部の「タイマー節電」ランプ「3」が点灯します。

・操作部の「節電中」ランプ（緑色）が点灯します。

アドバイス

・節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒーターが入ります。

・温水になるまで約10分かかります。

・便座が温まるまで約15分かかります。

・節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、節電を開始したい時刻にもう一度 タイマー節電 入/切 を押してください。

操作部　補助操作部

点灯

運転　温水　便座　脱臭　節電中

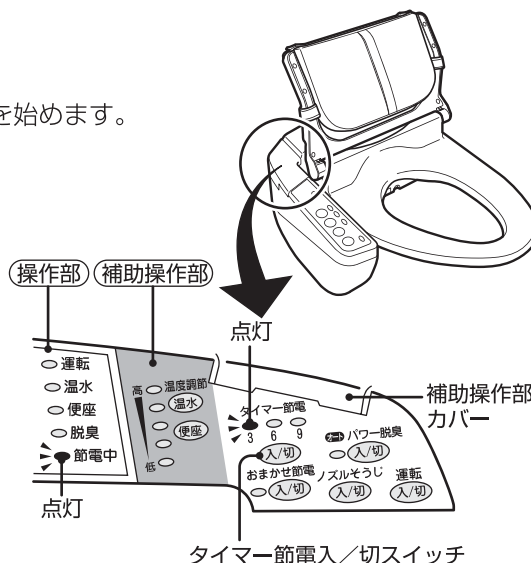
高　温度調節　温水　便座　低

タイマー節電　3　6　9　入/切

おまかせ節電　入/切　パワー脱臭　入/切　ノズルそうじ　入/切　運転　入/切

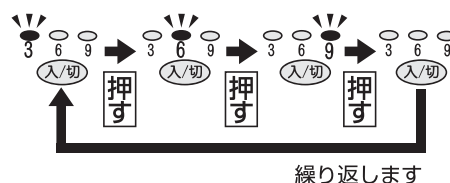
点灯

補助操作部カバー

タイマー節電入／切スイッチ

<節電時間の変更>

3・6・9時間のいずれかに設定変更ができます。

タイマー節電 入/切 を押します。

・スイッチを押すごとに3→6→9→切（ランプ点灯なし）の順でランプ表示が変わりますので、設定したい時間を選んでください。

<タイマー節電をやめる>

「タイマー節電」ランプが消えるまで タイマー節電 入/切 を押すと、節電をやめます。

・操作部の「運転」・「温水」・「便座」ランプが点灯します。

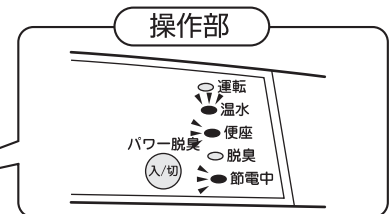
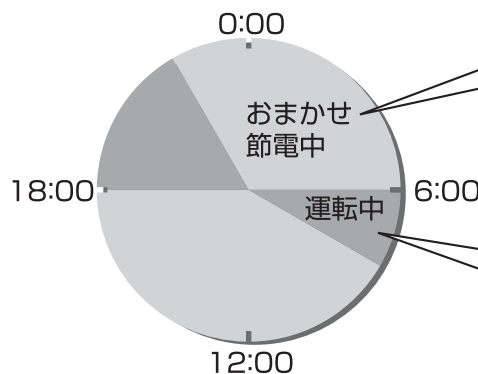
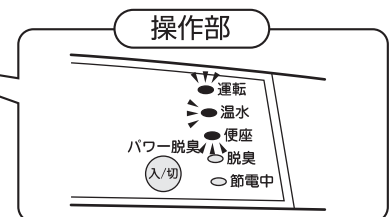
使用方法

使い方

9. おまかせ節電の仕方

おまかせ節電とは…

●トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間を見つけ、自動で便座の温度を下げて節電します。

●同じ時間帯に1週間のうち2回程度のご使用であれば、あまり使用しない時間として節電していきます。

<おまかせ節電をする>

補助操作部の おまかせ節電(入/切) を押すと、自動で便座の温度を下げて、節電を始めます。

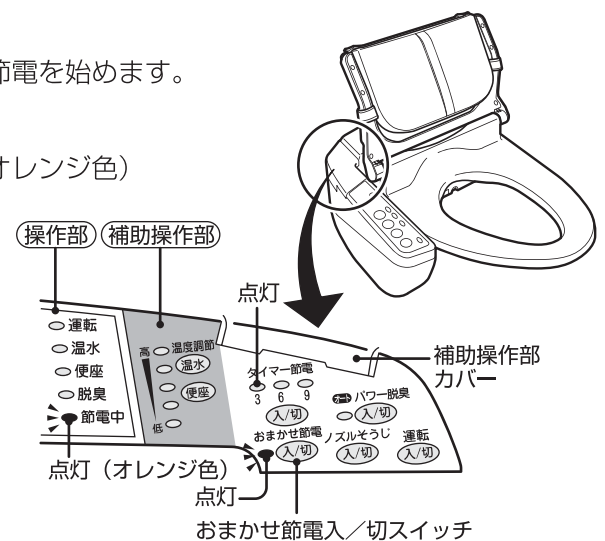
・補助操作部の「おまかせ節電」ランプが点灯します。

・あまり使用しない時間になると操作部の「節電中」ランプ（オレンジ色）が点灯します。

アドバイス

・ウォシュレットをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。

・節電中の便座温度は約26℃に設定しています。

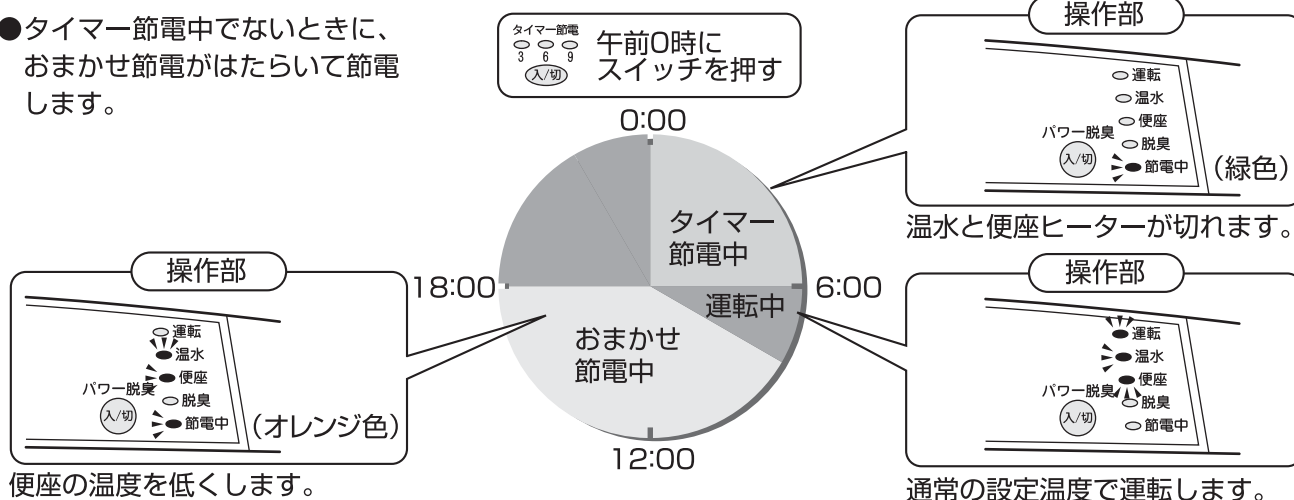
・節電中でも便座に座れば、一時的に便座を温めます。

<おまかせ節電をやめる>

おまかせ節電(入/切) を押すと、おまかせ節電をやめます。

・補助操作部の「おまかせ節電」ランプが消灯します。

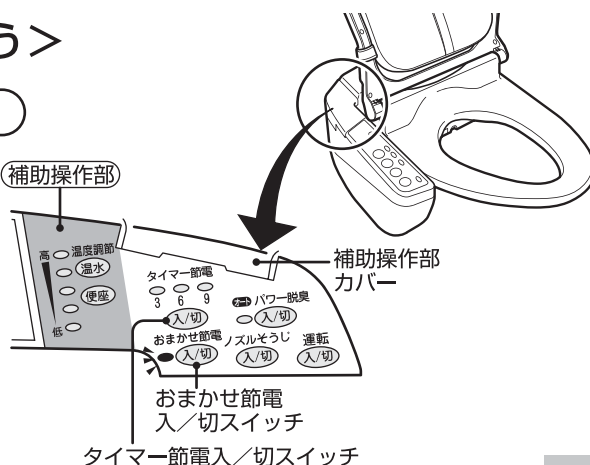
・操作部の「運転」ランプが点灯します。

タイマー節電とおまかせ節電の両方を使う

●タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて節電します。

＜タイマー節電とおまかせ節電の両方を使う＞

スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

(1)節電を開始したい時刻に補助操作部の タイマー節電 入/切 を押します。（補助操作部）
タイマー節電の仕方はP.20の 8. タイマー節電の仕方 を参照してください。

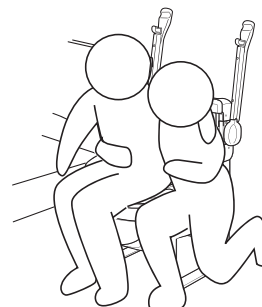
(2) おまかせ節電 入/切 を押します。

10. イスとしての使用方法

便座と座面を下ろし、イスとして使用できます。

※イスとして使用する場合は、背もたれはありません。

ベッドサイドで使用

ベッドサイドで使用の場合は、ベッド側の肘掛けを跳ね上げて使うと移動しやすくなります。

介助者がいる場合は、左右の肘掛けを跳ね上げて使用できます。

⚠ 注 意

必ず実行

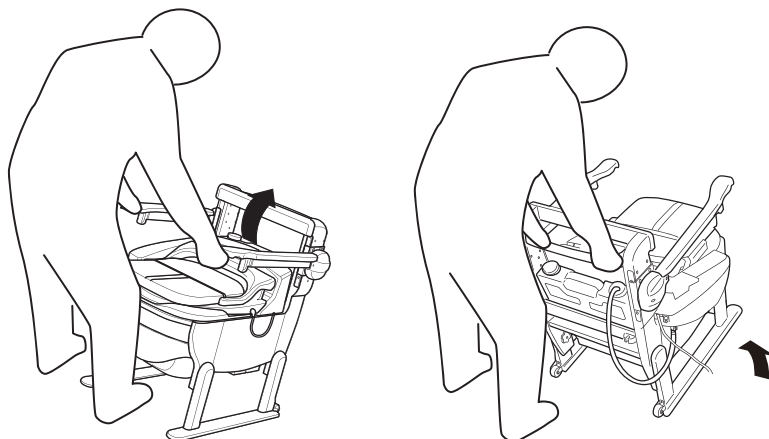
ベッドサイドでは、必ず介助者が身体を支えてください

使用方法 使い方

使い方

11. キャスターの使用方法

本体の移動

本体を傾け、キャスターを利用して
移動できます。

⚠ 注 意

必ず実行

本体を移動させる際は、左右の肘掛けがロックされていることを必ず確認してください。また、汚物の有無を確認してください。
汚物がこぼれる場合があります。

トイレに人が座った状態では本体を移動させないでください

お手入れ

1. 日常のお手入れ

⚠ 注 意

必ず実行

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お手入れしてください
※「ノズルそうじスイッチ」機能の使用時は除きます。

各部にネジやボルトの緩みがないか点検してください。緩みがある場合は、増し締めしてください。

(1)給水タンクの水を入れ替える。

給水タンクの給水には水道水を使用してください。また、水質悪化を抑えるために水は毎日入れ替えてください。

アドバイス

給水タンクの汚れがひどい場合には、市販の台所用漂白剤（主成分: 次亜塩素酸ナトリウム）を指定濃度に薄め、つけ置き洗いをしてください。その後、水で十分に洗い流してください。なお、使用する際は台所用漂白剤の取扱説明、注意事項に従ってください。

お手入れ

⚠ 注意

禁止

給水タンクに水道水以外は使用せず、消毒液、薬品、芳香剤などを入れないでください
皮フの炎症などを起こすおそれがあります。

必ず実行

ウォシュレットの給水タンクの水は毎日入れ替えてください
水質悪化により皮フの炎症などをおこすおそれがあります。

水は毎日入れ替える

(2)やわらかい布で水ぶきする

水でぬらしたやわらかい布をよく絞ってふいてください。
※ウォシュレットはプラスチックでできていますので、乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。キズがつく原因になります。
※ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分気をつけてください。
※洗剤が本体とウォシュレットとの間に残らないように、しっかりとふき取ってください。

アドバイス

着座センサー窓をきれいにしましょう。汚れていると各機能が作動しません。

⚠ 警告

禁止

ウォシュレット、電源プラグに水や洗剤をかけないでください
火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

禁止

お手入れをするときは、薄めた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わないでください

トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナーおよびクレンザー、ナイロンたわしなど

・破損してケガをするおそれがあります。
・給水ホースを傷め、水漏れのおそれがあります。

(3)汚れがひどいときは…

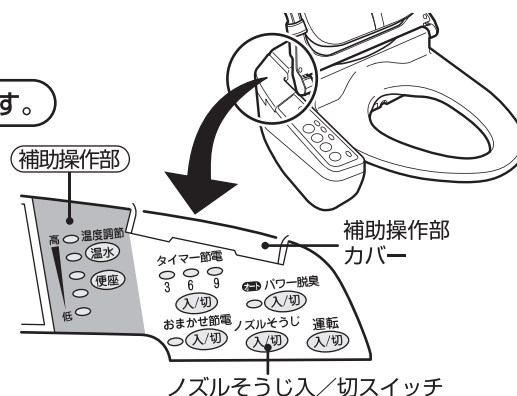
薄めた台所用洗剤（中性）をふくませたやわらかい布でふき取ってください。
その後、水ぶきをしてください。

2. 各部のお手入れ

＜ノズルのお手入れ＞

お湯を出さずにノズルが伸出しますので、掃除がラクにできます。

(1)ノズルを出します。

補助操作部の ノズルそうじ 入/切 を押すと、ノズルが出てきます。
このとき、ノズルの根元からお掃除のための水が出ます。

使い方
使用方法
その他
お手入れ

(2)掃除します。

柔らかい布で水ぶきしてください。

(3)ノズルを収納します。

もう一度 ノズルそうじ 入/切 を押すとノズルが収納され、自動で洗浄されます。

ノズル

柔らかい布

アドバイス

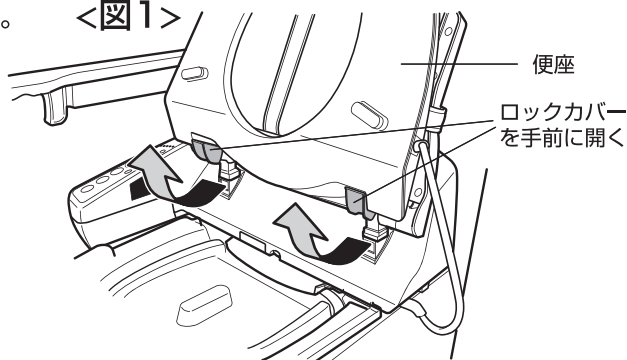
- ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 収納し忘れた場合でも、ノズルは約5分後に自動で収納されます。

<座面のお手入れ>

座面、便座は取り外すことができますので、すみずみまで掃除できます。

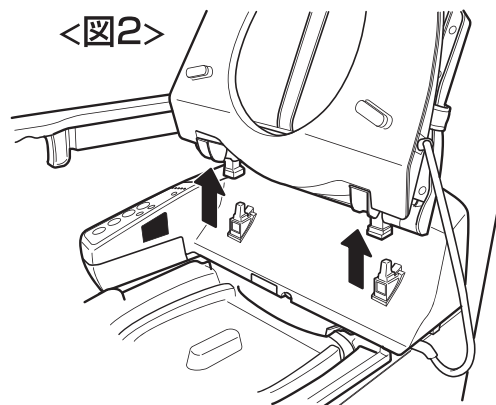
(1)便座を取り外すために左右のロックカバーを開けます。

便座を跳ね上げ、左右のロックカバーを手前に開いてください。（図1を参照してください）

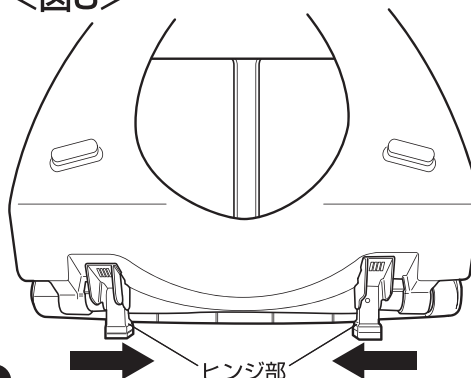
<図1>

(2)便座を引き上げます。

便座の左右を両手でしっかりと持ち、真上に引き上げてください。（図2を参照してください）

※便座コードは外せません。

※斜めに引き上げたり、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

(3)座面を取り外します。

便座の左右のヒンジ部を内側にずらします。（図3を参照してください）

<図2>

(4)掃除します。

※お手入れはP.23の 1. 日常のお手入れ を参照してください。

※便座を取り外して掃除するときは、ウォシュレットを本体から取り外さないでください。床に落とし、故障の原因になります。

<図3>

(5)座面を取り付けます。

便座の左右のヒンジ部を座面の穴にあわせ、外側にずらします。

(6)便座を取り付けます。

※便座コードがねじれたまま取り付けないでください。

(7)左右のロックカバーを閉めます。

左右のロックカバーを「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。

※便座コードがねじれたまま取り付けないでください。

⚠ 警告

禁止

電源プラグのコードや便座コードを破損するようなことはしないでください

傷んだまま使用すると火災、感電、ショートのおそれがあります。

<本体とウォシュレットとのすき間のお手入れ>

ウォシュレットを本体から取り外して、本体の上面やウォシュレットの底面も掃除できます。

⚠ 警 告

禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください** 感電やケガをするおそれがあります。	プラグ抜き励行	**お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください** 感電のおそれがあります。

(1)電源プラグを抜きます。

(2)肘掛けを跳ね上げ、受け板を引き出します。

※肘掛けの跳ね上げ方は、P.9 3.肘掛けの固定・固定解除について の「(1)肘掛けの固定を解除するとき」を参照してください。

本体取りはずしボタン(水抜きレバー兼用)
●押したまま本体を手前に引く

※本体取りはずしボタンは水抜きレバーと兼用です。

(3)ウォシュレットを取り外します。

座面と便座を跳ね上げた状態で、給水ホースを給水タンクから外し、ウォシュレット本体左側の本体取りはずしボタン（水抜きレバー兼用）を押したまま、ウォシュレットを手前に引きます。

アドバイス

ウォシュレットは一旦少し手前に引き出したあと、時計回りに回転させると取り外しやすくなります。

受け板

ベースプレート

(4)掃除します。

※お手入れは、P.23の 1. 日常のお手入れ を参照してください。

(5)ウォシュレットを取り付けます。

便座を跳ね上げた状態で、ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心をあわせ、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。

※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

アドバイス

ウォシュレット本体が取り付けにくい場合は、タンクを取り外して作業を行ってください。

受け板

ベースプレート

(6)受け板をもとの位置に戻し、給水ホースを給水タンクに通して固定します。

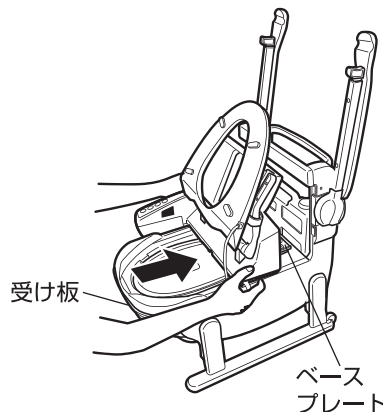
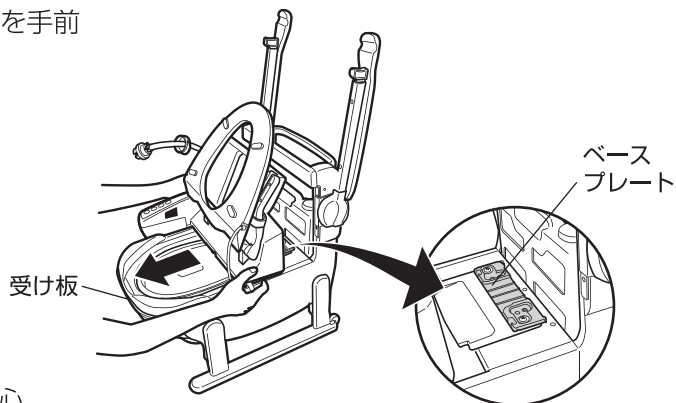
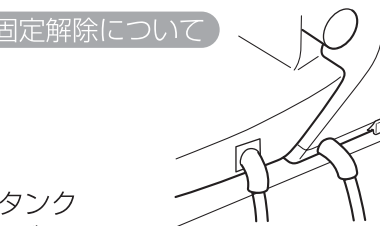
(7)電源プラグを差し込みます。

電源プラグの「切表示」ランプが消灯していることを確認します。

※「切表示」ランプが点灯しているときは「入（リセット）」ボタンを押すと「切表示」ランプが消灯します。詳しくはP.28の 3. 電源プラグのお手入れと点検 を参照してください。

※電源プラグを差し込み、リセットボタンを押すと自動でウォシュレットのノズルが出てきますが、異常ではありません。

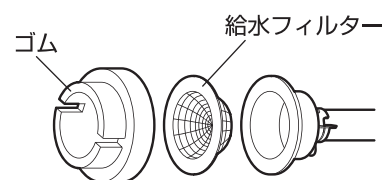
⚠ 注 意

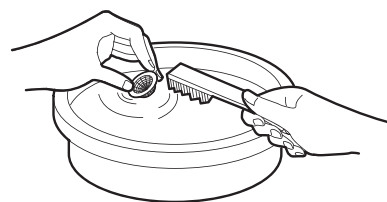
禁止	**給水ホースにキズをつけないでください** 水漏れのおそれがあります。

お手入れ

<給水フィルターのお手入れ>

おしり・ビデ洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルターの掃除を行ってください。

(1)給水タンクから給水フィルターを取り出します。

・給水タンクから給水ホースを取り出します。
・給水ホースの取出し方は、P.14の 1. 給水方法 を参照してください。
・給水口のゴムを外し、中の給水フィルターを取り出します。
※給水ホースに残っている多量の水がこぼれてくることがありますので、タオルなどで受けてください。

(2)給水フィルターを取り出して掃除します。

給水フィルターに詰まったゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。

(3)給水口に給水フィルターを組み込みます。

(4)給水ホースを給水タンクに差し込み、キャップを「カチッ」と音がするまでしっかり押し込みます。

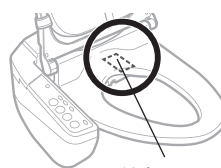
⚠ 注 意	
禁止	**給水ホースにキズをつけないでください** 水漏れのおそれがあります。

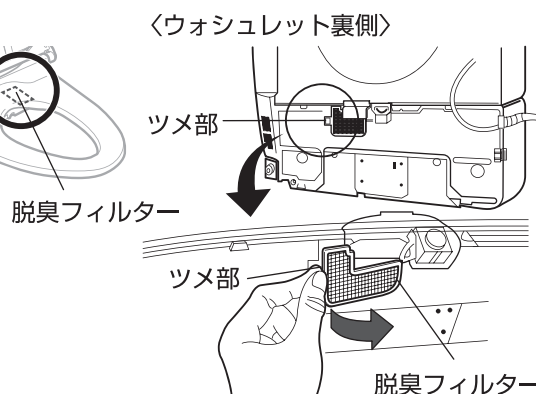
<脱臭フィルターのお手入れ>

ウォシュレットを取り外してから脱臭フィルターのお手入れを行ってください。

※ウォシュレットの取付け方、取出し方は、P.26の「本体とウォシュレットとのすき間のお手入れ」を参照してください。

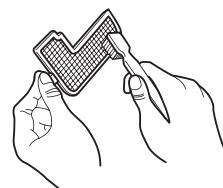
(1)脱臭フィルターを取り外します。

脱臭フィルターの左側にあるツメ部を指で押しながら、手前に引き出してください。

(2)掃除します。

脱臭フィルターに付着したホコリを歯ブラシなどで取り除いてください。

(3)脱臭フィルターを取り付けます。

「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

アドバイス

・脱臭フィルターは水洗いできますが、再度取り付ける前に水気を取ってください。
・脱臭フィルターの汚れ、目詰まりがひどい場合には、交換をおすすめします。

<ベースプレートと水受け板のお手入れ>　プラスドライバーが必要です。

ベースプレートや水受け板を取り外すことができますので、すみずみまでお掃除できます。

(1)ウォシュレットを取り外します。
※ウォシュレットの取付け方、取出し方は、P.26の「本体とウォシュレットとのすき間のお手入れ」を参照してください。

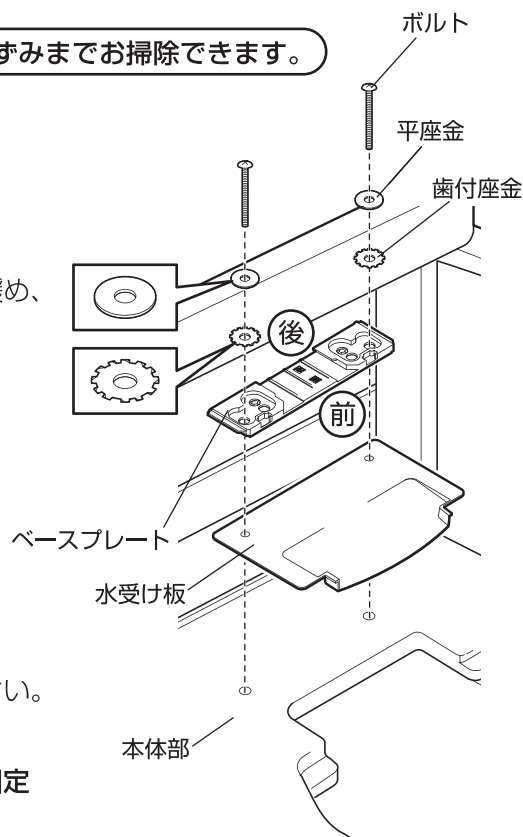
(2)ベースプレートを取り外します。
※ベースプレートを固定しているボルトをプラスドライバーで緩め、ベースプレートを取り外します。

(3)水受け板を取り外します。

(4)お掃除します。
※やわらかい布で水ぶきしてください。
※洗剤を使う場合は、台所用中性洗剤をご使用ください。

(5)水受け板を本体部に載せます。
※水受け板の穴が本体部の穴に合うように載せてください。

(6)水受け板の上にベースプレートを載せます。
※ベースプレートの穴が水受け板の穴に合うように載せてください。
※ベースプレートの前後方向にご注意ください。

(7)右図のように歯付座金と平座金を載せて、ボルトでしっかりと固定します。
※歯付座金は歯が出ている方がベースプレート側（下側）です。

3. 電源プラグのお手入れと点検

電源プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

⚠ 警 告

必ず実行

電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込んでください

火災や感電のおそれがあります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

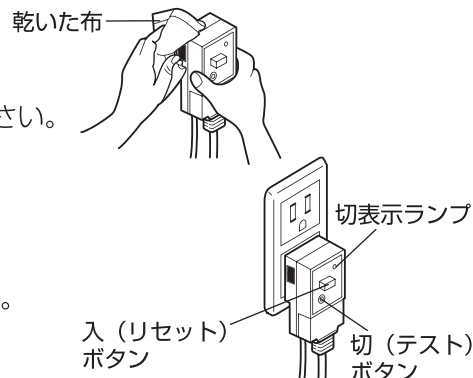
(1)電源プラグを抜きます。

(2)掃除します。
電源プラグの刃などに付いたホコリを乾いた布で取り除いてください。

乾いた布

(3)電源プラグを差し込みます。

(4)点検します。
・「切（テスト）」ボタンを押すと「切表示」ランプが点灯します。
・「入（リセット）」ボタンを押すと「切表示」ランプが消灯します。
・以上のように作動すれば正常です。

切表示ランプ
入（リセット）ボタン
切（テスト）ボタン

アドバイス

・「切（テスト）」ボタンを押すとタイマー節電が「切」になります。再度設定し直してください。
・おまかせ節電は、その日の節電運転がはたらかない場合がありますが、翌日からは設定通りにはたらくようになります。

4. 長期間使用しないとき

長期間使用しないときは水を抜き、電源プラグを抜いておいてください。

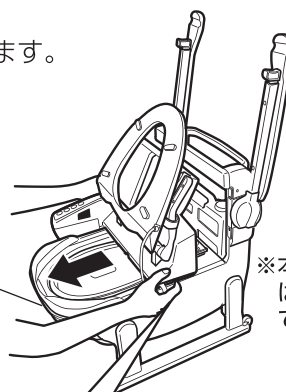
<table>
<tr><th colspan="2">⚠ 注 意</th></tr>
<tr><td rowspan="2">
</td><td>長期間使用しないときは水を抜き、電源プラグを抜いてください
再使用するとき、水が腐敗して皮フの炎症などをおこすおそれがあります。</td></tr>
<tr><td>凍結による破損の予防を行ってください
凍結すると給水ホースやウォシュレット内部が破損して水漏れするおそれがあります。</td></tr>
</table>

(1)電源プラグを抜きます。

(2)給水タンクから給水ホース内の水を抜きます。

・給水タンクを取り外し、中の水を抜きます。
・給水ホースは給水タンクから外し、給水口を下に向け、給水ホースを手で何度か押しつぶすと中の水が出てきます。
※給水ホースに残っている水は洗面器などで受けてください。

(3)ウォシュレットを手前にずらします。

・座面と便座を跳ね上げ、受け板を引き出し、バケツを取り出します。
※座面の跳ね上げ方は、P.6 1. 便座の高さを調節する の「(1)座面を跳ね上げる。」を参照してください。
・本体取りはずしボタン（水抜きレバー兼用）を押したまま、ウォシュレットを手前に引きます。

(4)ウォシュレット内の水を抜きます。

・本体取りはずしボタン（水抜きレバー兼用）を引くと、ウォシュレット内の水（約1.2リットル）が出てきます。水は必ず汚水受けで受けてください。水が完全に抜けるまで3分ほどかかります。
※本体取りはずしボタン（水抜きレバー兼用）は水抜きのとき以外は引き出さないでください。
※ウォシュレットには給水タンクとは別に温水を貯めるためのタンクを内蔵しています。

受け板

※本体取りはずしボタンは水抜きレバーと兼用です。

ウォシュレットを本体から外すとき
・本体取りはずしボタン（水抜きレバー兼用）を押す

ウォシュレット内の水を抜くとき
・ウォシュレットをずらし本体取りはずしボタン（水抜きレバー兼用）を引き出す

(5)水を処理します。

・汚水受け、ウォシュレット、バケツ、受け板をもとの位置に戻します。

(6)保管をします。

※室温0〜40度の部屋で保管してください。

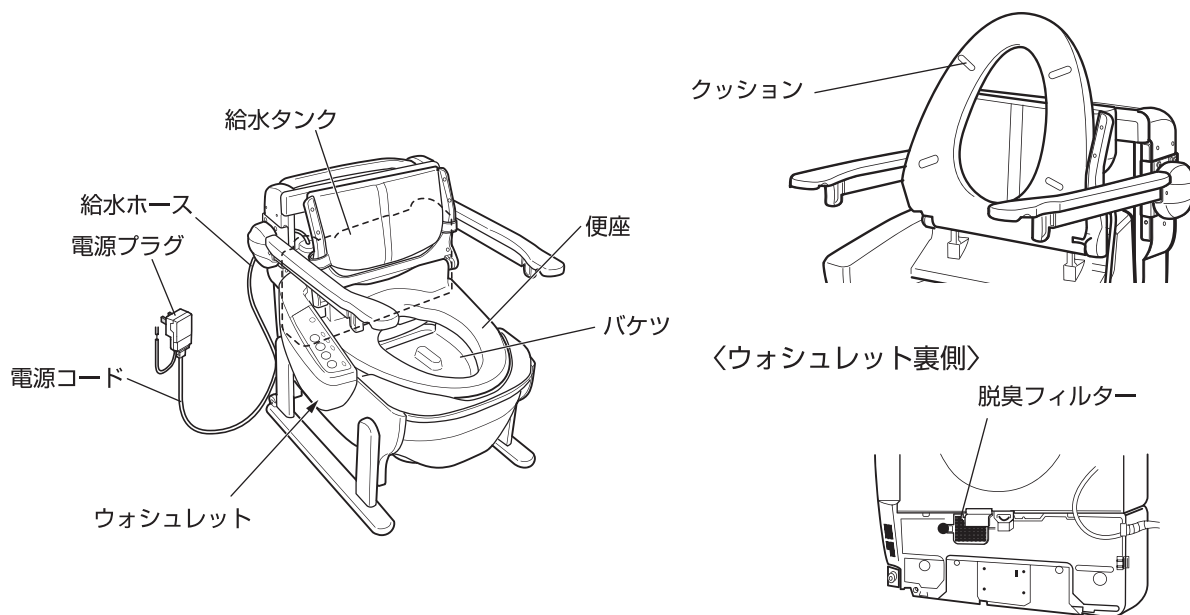
<table>
<tr><th colspan="2">⚠ 注 意</th></tr>
<tr><td>
</td><td>給水ホースにキズをつけないでください
水漏れのおそれがあります。</td></tr>
</table>

<再度使用するとき>

お手入れと機能の確認を行ってから使用してください。

※お手入れは、P.23の 1. 日常のお手入れ を参照してください。
※確認は、P.6の「ご使用前になる前に」を参照してください。

点検のお願い（定期点検のおすすめ）

安全に末永くお使いいただくために日頃から以下の点検を行ってください。

点検部位など（図を参照）	劣化チェック項目	点検目安	兆候有無	経年劣化に伴い予想される具体的事象（危害情報など）
ウォシュレット・便座	ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色・部品の欠落がある。	年1回以上	有・無	ケガ、火災、感電、水漏れなど
給水ホース・電源コード	傷み・挟み込み・つぶれ・折れ曲がりがある。	年1回以上	有・無	火災、感電、水漏れなど
給水ホース	電源プラグに接触している。	年1回以上	有・無	火災、感電など
ウォシュレット・電源コード・電源プラグ・便座	異常に熱かったり、異常音・異臭がある。	年1回以上	有・無	ヤケド、火災、感電、水漏れなど
ウォシュレット・便座	洗浄・脱臭などが正常に作動しない。	年1回以上	有・無	ケガ、火災、水漏れなど
電源プラグ・脱臭フィルター	ホコリが付着している。	月1回以上	有・無	ケガ、火災など
ウォシュレット・給水タンク・給水ホース・バケツ	水漏れしている。	年1回以上	有・無	感電、水漏れなど
全体・クッション	部品が抜けている。 ボルト・ナットに緩みがある。 腐食している。	月1回以上	有・無	ケガなど

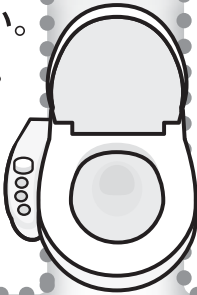
重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

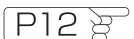
日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。
トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会** http://www.sanitary-net.com 後援 **経済産業省**

故障かな？と思ったら

万一、故障かなと思われるところがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。
これらの処置をしても異常がある場合は電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

☞ の中の数字は説明しているページです。

ウォシュレット全機能

症状	確認するところ	処置
全く作動しない	ウォシュレットがベースプレートから外れていませんか。	ウォシュレットを一度外してもう一度ベースプレートに取り付けてください。 P26☞
	停電したりブレーカーが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。またブレーカーを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。
	操作部の「運転」ランプが消灯していませんか。	補助操作部の運転(入/切)を押してください。 P12☞
洗浄音が大きい	ウォシュレット付ポータブルトイレはポンプで給水する構造のため、ウォシュレットご使用時に、ポンプ動作音と振動が発生します。故障ではありません。	

故障かな？と思ったら

おしり・ビデ洗浄

症状	確認するところ	処置
洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	補助操作部の(温水)で調節してください。 P17
	温水タンクが空になっていませんか。	空の時は吐水まで約1分、温水になるまで約10分かかります。 P13
洗浄水が出ない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目を参照してください。 P33
	給水ホースがつぶれていませんか。	給水ホースをつぶさないようにしてください。
	給水タンクが空になっていませんか。	給水ホースをつぶさないようにしてください。 P14
	温水タンクが空になっていませんか。	空の時は吐水まで約1分、温水になるまで約10分かかります。 P13
洗浄水勢が弱い	給水フィルターにゴミが詰まっていませんか。	給水フィルターを掃除してください。 P27
洗浄水が途中で止まった	(おしり)(やわらか)または(ビデ)を押してから、約5分後に自動で止まります。	再度(おしり)(やわらか)または(ビデ)を押してください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目を参照してください。 P33
	給水タンクのキャップが印からずれていませんか。	印の位置にホースを戻してください。 P14

暖房便座

症状	確認するところ	処置
便座が温かくならない	便座温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	補助操作部の(便座)で調節してください。 P17
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座るとヒーターが入り約15分で温かくなります。
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ると一時的に温かくなります。
便座がだんだん冷たくなる	便座に座ると20分後から徐々に温度を下げ、約1時間後に自動でヒーターを切って低温ヤケドを防止するように設定されています。便座から離れるとヒーターが入り、便座を温めます。故障ではありません。	
便座が冷たい	操作部側面の着座センサーが覆われていませんか。	操作部側面の着座センサーを覆わないようにしてください。

故障かな？と思ったら

着座センサー

症状	確認するところ	処置
便座に座っていないのにスイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などを取り除いてください。
便座に座っているのにおしり洗浄や脱臭機能が作動しない	座り方、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	座り方をかえたり、衣服を少し持ち上げて肌を検知するようにしてください。
	衣服で着座センサーがおおわれていませんか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服またはゴミや水滴などを取り除いてください。

脱臭

症状	確認するところ	処置
便座から離れると脱臭の音が大きくなる	はじめは オートパワー脱臭 入/切 が「入」になっています。オートパワー脱臭は離座後、吸い込む力をアップさせて脱臭するように設定されています。故障ではありません。	
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目を参照してください。
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていませんか。	脱臭フィルターを掃除してください。 P27
脱臭が勝手に作動した	掃除時など、着座センサーが着座状態を検知して脱臭が作動することがあります。故障ではありません。	

節電機能

症状	確認するところ	処置
おまかせ節電スイッチを入れても節電しない	ポータブルトイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。	
	同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	
正しい時間に節電しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。 (設定時間がずれることがあります)	・タイマー節電は「入」にしてください。（電源が一度切れると「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします。 ・タイマー節電は翌日から通常通り作動するようになります。

仕様

本体仕様			
品　名			木製トイレ きらく 洗優 肘掛跳ね上げ
本体寸法			幅58.5×奥行67.5×高さ64.5～76.5（cm）
便座面高さ			32.5・35・37.5・40・42.5・45（cm）
重　量			26.4kg
材質	本体		天然木（ラバーウッド）
	肘掛け		天然木（ラバーウッド）・スチール
	座面		合成皮革・ウレタンフォーム
	バケツ、バケツフタ、汚水受け		ポリプロピレン　耐熱温度：120℃　バケツ容量：10L
	給水タンク、キャップ		ポリエチレン　　容量：3.5L
塗　装			木部：ラッカー塗装　金属部：ポリエステル塗装

ウォシュレット仕様			
品　番			TCF6021PPCV1HJ
定　格			AC100V　50-60Hz　610W
1時間当たりの標準消費電力量※1			約33 Wh
電源コード			長さ1.2m
洗浄装置	吐　水　量	おしり洗浄	約0.35～0.9L /分
		やわらか洗浄	約0.4～0.9L /分
		ビデ洗浄	約0.45～1L /分
	吐水温度		温度調節範囲　切、約30～40℃（5段階切替）
	吐水時間		約4分～5分（給水タンク満水、水勢最大時）
	ヒーター容量		350W
	タンク容量		約1.2L
	安全装置		温度ヒューズ、温度過昇防止器、空焚き防止フロートスイッチ
	逆流防止装置		バキュームブレーカー
暖房便座	表面温度		温度調節範囲　切、約30～40℃（5段階切替）
	ヒーター容量		50W
	安全装置		温度ヒューズ
脱臭装置	方　式		O_2脱臭
	風　量		標準モード：0.09㎥/分、パワーモード：0.16㎥/分以上
材質	ウォシュレット		ポリプロピレンほか
	水受け板		ポリスチレン

※1：12回/日の使用を想定した場合の年間平均　　※この商品は日本国内専用品です。

○抗菌

抗菌効果	商品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA登録試験所で実施し、その結果が JIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	暖房便座、ノズルヘッド、操作部（表面シート）
抗菌剤の種類	無機系（銀）
抗菌性能持続性	（一社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
安全性	（一社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
禁止事項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、商品の表面はよく清掃された状態に保ってください。

※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。

原産国（本体組立：中国 / 包装：日本）	（本体部）：中国　（ウォシュレット部）：日本

○製品の外観および仕様は、品質向上のため予告なく一部変更する場合があります。

保証基準

①本品の品質保証期間は、お買い求めになった日より1年間です。
②保証期間内に故障して無料修理・交換を受ける場合には、本書をご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。
③本書は再発行はいたしませんので大切に保管してください。
④保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
・本書のご提示がない場合。
・本書に商品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
・使用上の誤り、不適切な手入れ、不当な修理や改造などによる故障または損傷。
・天災地変、事故、落下による故障や損傷。
・消耗品の劣化、損傷、汚れ。
・実費修理の際に要する運賃などの諸経費。
⑤原則として、一度ご使用になった製品は、故障箇所の修理・交換にて対応いたします。
⑥本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは受付できません。
⑦ご贈答、ご移転で本書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合はお客様相談室へご相談ください。
⑧本品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。
⑨製造中止後の製品については、必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理・交換をお約束するものです。
したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、この保証期間後の修理などについてご不明な場合は、お客様相談室にお問い合わせください。

個人情報のお取扱いについて

●ご提供いただいた個人情報は、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および、法令に基づき必要とされる場合を除き、第3者への開示は行いません。
●ご提供いただいた個人情報は、商品、サービスに関するご相談、お問い合わせ、 および 修理の対応のみを目的として用います。
（業務委託の場合）
●上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。
個人情報のお取扱いについての詳細はホームページhttp://www.richell.co.jp/をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ・修理のご依頼は

（株）リッチェル お客様相談室
TEL 076-478-2957
受付時間:9:00～17:00（土日、祝祭日を除く）

ウォシュレット（品番 TCF6021PPCV1HJ）の修理に関するご依頼は
TOTOメンテナンス（株）修理受付センター へ
http://www.tom-net.jp/
TEL 0120-1010-05　FAX 0120-1010-02
受　　付：年中無休　受付時間：8:00～19:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）　営業時間：9:00～18:00

株式会社 リッチェル
富山市水橋桜木136 〒939-0592　お客様相談室/TEL(076)478-2957
受付時間:9:00～17:00（土日、祝祭日を除く）
http://www.richell.co.jp/

1408